



図 3-2 環境配慮調整事務フロー

○「グリーン電気」供給完了後の環境局に対する資料の送付について

すべての局等（知事部局、教育庁、警視庁、東京消防庁、公営企業を含む。）の発注案件について、グリーン電気供給計画書、グリーン電気供給実績報告書、環境価値の確保計画書、環境価値の確保報告書（複数ある場合は、そのすべて）及び環境価値の確保量計算書の写しを、環境局都市地球環境部計画調整課へ送付すること。

このとき、警視庁、東京消防庁、公営企業等発注起案文書を環境局に協議回付していない局等については、仕様書の写しを添付する。

4 電気需給仕様書の作成方法について

(1) 電気需給仕様書の構成

構成要素	主な内容	備考
仕様書	件名	
	需要場所	
	契約期間	
	供給電気方式等	
	契約電力	
	予定使用電力量	月別は別紙 1
	電気のCO ₂ 排出係数	
	グリーン電気供給計画書等の提出	
	電力量等の検針	
	需給地点	
	電気工作物の財産分界点	
	保安上の責任分界点	
	燃料費調整、力率、環境配慮等による調整	
電力使用量の実績	実績値は別紙 2-1、(2-2)、(2-3)	
様式 1-1	グリーン電気供給計画	
様式 1-2	グリーン電気供給実績	
別紙 1	年間予定使用電力量	
別紙 2-1	月別実績使用電力量	
(別紙 2-2)	日別実績使用電力量	データがあるときに限る
(別紙 2-3)	時間別実績使用電力量	データがあるときに限る

(2) 電気需給仕様書の作成に必要な準備書類

ア 電気需給契約書

一般電気事業者と締結している契約書。競争による電力調達を初めて行う場合において、現行の契約内容を把握するために用いる。参考例を図 4-1 に示す。

イ 電気料金計算書

一般電気事業者から毎月送付されるもの。競争による電力調達を初めて行う場合に用いる。参考例を図 4-2 (平成 19 年 3 月までのもの) 及び、図 4-3 (平成 19 年 4 月以降) に示す。過去 1 年分 (12 ヶ月分) のものを用意する。

ウ 日別、時間別の使用電力量データが記載された電気点検記録等

使用電力量データとして、過去 1 年分を用意する。

電気点検記録等のほか、データの提供を一般電気事業者に要請し入手する方法がある。なお、本データは電気需給仕様書の作成には必須ではない。

エ 電気需給仕様書 (記入例) (<資料 4> を参照)

電 気 需 給 契 約 書

東京都〇〇施設(以下甲といいます。)と〇〇電力株式会社(以下乙といいます。)の間における電気の需給について次のとおり契約を締結します。

契約種別	業務用季節別時間帯別電力	需 要 場 所	東京都〇〇区〇〇〇番〇号
契約電力	1,500 キロワット	需 給 地 点	乙の供給用配電箱における乙の母線と甲の地盤シヤ断装置(UGS)の電源側接続点
供給電気方式	交 流 3 相 3 線 式	電 気 工 作 物 の 財 産 分 界 点	需給地点に同じ
標準周波数	50 ヘルツ	保 安 上 の 任 務 分 界 点	電気工作物の財産分界点に同じ
供給電圧	標準電圧 6,000 ボルト	適 用 料 金 率	① 円 銭
計量電圧	標準電圧 6,000 ボルト		
需給開始日	平成 16年 4月 1日	電力量料金率 (使用電力1キロワット時につき)	ピーク時間 ②-1 円 銭
検針基準日	毎月末日		夏季基間 ②-2 円 銭
計 量 日	毎月末日	業 種 お よ び 用 途	夜 間 ②-4 円 銭
契約期間	平成〇〇年〇〇月〇〇日から平成〇〇年〇〇月〇〇日までとします。ただし、契約期間満了に先だてて甲または乙から別段の意思表示がない場合は、本契約は、契約期間満了後も1年ごとに同一条件で継続されるものとします。 なお、別段の意思表示は、相手方に対し文書をもって行うものとします。		
<p>1. 甲が上記の契約電力をこえて電気を使用した場合は、1年間を通じての最大の負荷を基準として、契約電力をすみやかに変更するものとします。</p> <p>2. 契約期間満了に先だてて、原則として他の契約種別に変更することはできません。</p> <p>3. 甲および乙は、本契約の締結により知りえた情報について、守秘義務を遵守するものとします。ただし、甲および乙の業務運営上特に必要な場合は、この限りではありません。</p> <p>4. 本契約書に記載されていない事項については、電気需給約款(特定規模需要(高圧))(平成19年4月1日実施。以下需給約款(高圧)といいます。)によるものとします。</p> <p>5. 本契約、需給約款(高圧)により難い特別な事項は、そのつど甲乙協議によって定めるものとします。</p> <p>6. 甲乙間において平成〇〇年〇〇月〇〇日付けで締結した電気需給契約は、本契約の需給開始日からその効力を失うものとします。</p>			
上記契約締結の証として本通2通を作成し、甲乙記名捺印のうえ、各々の1通を保有します。			
平成 年 月 日			
(甲) 東京都〇〇施設 管理責任者 〇〇 〇〇 印		(乙) 〇〇電力株式会社 支社長 〇〇 〇〇 印	

図 4-1 一般電気事業者と締結している電気需給契約書の参考例

<h3 style="margin: 0;">電 気 料 金 計 算 書</h3>																									
<p>契約電力 1,500 kW (契約日)</p> <p>17年 9月 1日現在 (計量日)</p> <p>計量用電力 日よび</p>	<p>切替前の契約電力</p> <p>切替月別月 力率</p> <p>10月 3日</p>																								
<p>約 束 料 金</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>単 位</th> <th>電 力 単 位</th> <th>料 率</th> <th>金 額</th> </tr> <tr> <td>基本料金</td> <td>71</td> <td>1018.9920</td> <td>71989.24</td> </tr> <tr> <td>夏季</td> <td>1108</td> <td>100.49</td> <td>11154.292</td> </tr> <tr> <td>その他標準</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料費調整額</td> <td>4.19</td> <td>100.49</td> <td>420.931</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td></td> <td>11255.223</td> </tr> </table>		単 位	電 力 単 位	料 率	金 額	基本料金	71	1018.9920	71989.24	夏季	1108	100.49	11154.292	その他標準				燃料費調整額	4.19	100.49	420.931	合 計			11255.223
単 位	電 力 単 位	料 率	金 額																						
基本料金	71	1018.9920	71989.24																						
夏季	1108	100.49	11154.292																						
その他標準																									
燃料費調整額	4.19	100.49	420.931																						
合 計			11255.223																						
<p>過去1年間の各月における最大需要電力</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>17年 8月</td><td>63kW</td><td>17年 7月</td><td>64kW</td><td>17年 6月</td><td>50kW</td></tr> <tr> <td>17年 5月</td><td>67kW</td><td>17年 4月</td><td>58kW</td><td>17年 3月</td><td>67kW</td></tr> <tr> <td>17年 2月</td><td>74kW</td><td>17年 1月</td><td>67kW</td><td>16年 12月</td><td>68kW</td></tr> <tr> <td>16年 11月</td><td>68kW</td><td>16年 10月</td><td>62kW</td><td></td><td></td></tr> </table>		17年 8月	63kW	17年 7月	64kW	17年 6月	50kW	17年 5月	67kW	17年 4月	58kW	17年 3月	67kW	17年 2月	74kW	17年 1月	67kW	16年 12月	68kW	16年 11月	68kW	16年 10月	62kW		
17年 8月	63kW	17年 7月	64kW	17年 6月	50kW																				
17年 5月	67kW	17年 4月	58kW	17年 3月	67kW																				
17年 2月	74kW	17年 1月	67kW	16年 12月	68kW																				
16年 11月	68kW	16年 10月	62kW																						
<p>電 力 料 金 計 算 書</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>電 力 料 金 (A)</td> <td>215151.63</td> <td>燃料費調整額 (B)</td> <td>587.00</td> </tr> <tr> <td>燃料費調整額 (C)</td> <td></td> <td>基本料金 (D)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>グリーン電力証書 (E)</td> <td></td> <td>その他標準 (F)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td>合 計</td> <td></td> </tr> </table>		電 力 料 金 (A)	215151.63	燃料費調整額 (B)	587.00	燃料費調整額 (C)		基本料金 (D)		グリーン電力証書 (E)		その他標準 (F)		合 計		合 計									
電 力 料 金 (A)	215151.63	燃料費調整額 (B)	587.00																						
燃料費調整額 (C)		基本料金 (D)																							
グリーン電力証書 (E)		その他標準 (F)																							
合 計		合 計																							
<p>合 計 215151.63</p>																									
<p>支払金額 70,036円 (税込)</p>																									

図 4-2 電気料金計算書(参考例)(平成 19 年 3 月まで)

(3) 電気需給仕様書の作成要領

ア 仕様書 (1 ページ目)

仕 様 書

1. 件 名 東京都〇〇施設で使用する電気の需給 (その1) (単価契約)
2. 需要場所 東京都〇〇区〇〇〇丁目〇番〇号
3. 供給期間 平成19年7月1日から平成20年6月30日まで
4. 仕 様
 - (1) 供給電気方式、供給電圧 (標準電圧)、計量電圧 (標準電圧)、標準周波数及び電気方式
供給電気方式 交流3相3線式 ①
供給電圧 (標準電圧) 6,000 ボルト
計量電圧 (標準電圧) 6,000 ボルト
標準周波数 50 ヘルツ ②
電気方式 2回線受電 (本・予備線受電)
(予備電線路により供給する場合は、常時利用変電所から常時利用と同位の電圧を供給する。)
 - (2) 契約電力、予定使用電力量
契約電力 常時電力 1,500 キロワット ③
(契約電力とは、契約上使用できる電気の最大電力をいい、計量器により計測される値が原則としてこれを超えないものとする。)
予定使用電力量 4,600,000 キロワット時
④ (月別の予定使用電力量は別紙1による。)
 - (3) 電気のCO₂排出係数
請負者 (以下「乙」とする。) が東京都〇〇施設 (以下「甲」とする。) へ供給する電気のCO₂排出係数実績値については、0.392kg-CO₂/kWh 未満とする。
なお、CO₂排出係数の算定については、東京都エネルギー環境計画指針 (平成17年東京都告示第864号) に定めるCO₂排出係数の算定方法により、契約期間内の各年度ごとに算出した値を基にして、契約期間におけるCO₂排出係数を計算するものとする。
 - (4) グリーン電気供給計画書等の提出
乙は、「東京都「グリーン電気」購入マニュアル (電気事業者編)」に従い、グリーン電気供給計画書 (様式1-1) を、電気の供給を開始した日の翌日から30日以内に、また、グリーン電気供給実績報告書 (様式1-2) を、電気の供給を完了した日から30日以内に、甲へ提出すること。
 - (5) 電力量等の検針
自動検針装置 有
電力会社の検針方法 遠隔自動検針
計量器の構成 電力需給用複合計器 (通信機能付 精密扱)